

3年 やくそくを守って

内容項目 C 規則の尊重

教材名 「かるた遊び」

本時のねらい

クラスの問題を解決するために話し合う「千歌のクラス」の姿を通して、きまりの大切さを考え、学級のためによりよいきまりを考えていこうとする判断力や心情を育てる。

子どもの学習活動

○自分のクラスに、クラスの約束があるか、また、それは必要なことだと思うかを発表する。

係や当番の仕事をしっかりとする。

発表している人を見て聞くこと。

全員遊びにもルールがあるよ。

○「かるた遊び」を読み、千歌のクラスにはどんな約束が必要かを考え、〈かるた遊びのやくそく〉欄に記入する。

○書いた約束を発表し、よりよいきまりを考える。

順番を決めて遊ぶといいと思う。

「入れて」と言われたら、必ず入れる。

使った人みんなで片付ける。

どんなことを大切にして、約束を考えたのかな。

●千歌のクラスが、仲良く遊べるようになったのは、どのような考えからだったのかを話し合う。

約束を守ることは、どうして大切なのかな。

自分のことだけ考えてはいけない。

みんながみんなのことを考えた。

誰か一人が楽しければいいのはだめ。

ルールを守るからこそ楽しめるのかな。

自分も友達も、みんなが楽しくなる。

一人一人がみんなのことを考えて約束を守ると、みんなが笑顔になって、気持ちよく生活できるからだね。

○「つなげよう」を読み、自分のクラスの約束の大切さについても考えてみる。

○ワークシートに振り返りを書き、発表する。

【子ども一人一人の学びが深まった姿】

みんなのことを考えたきまりをつくるだけでなく、一人一人がそれを守ろうとする意識をもつことも大切だということに気付いている。

セルフチェック1 (興味・関心・疑問をもてる)

本時のテーマに関して、普段の生活を想起し、交流することで、本時の学習への興味を引き出す。

セルフチェック2 (意欲が持続する)

仲良く遊ぶことができなかつたクラスが、みんなで仲良く遊べるようになったのは、どのような約束があったからなのかを考えることで、約束をつくる根本となる考えは何なのかという問いを引き出す。

セルフチェック4 (協働して活動)

よりよいきまりについて考えることができるように、少人数で話し合う場を設ける。

セルフチェック5 (多面的・多角的に考察)

約束さえあればみんな仲良く遊べるのかと問い返すことで、規範意識についての考えが生まれ、子どもが多面的・多角的に考えることができるようにする。

セルフチェック6 (学びのよさを実感し、次の課題に向かう)

自分の学級についても考えることで、本時の学習のよさを感じ、子ども自身が普段の生活に生かしていきたいという意欲につなげる。

【評価】

自分のことだけでなく、学級全体のことを考えたきまりをつくっていく大切さに気付いている。(発言・記述)